

富岳会 (ふがくかい)

もちつき のりお
(望月 則男 議員)

富士山の麓から創造力と活力がみなぎるまちづくり

問 自然に囲まれたライフプランの提案をすることで、工場のみならずIT関連企業のデータセンターなどを設置することで多くの雇用創出、移住・定住策が可能と考えられるが。

部長 IT関連企業のデータセンターなどの設置については、市経済の活性化及び雇用の創出等への影響が期待できるため、製造業の工場と同様に誘致を図っていく。

同報無線アナログからデジタルへの切り替え

問 同報無線のアナログからデジタルに切り替えている中で、聞きづらいという声に対して、いま一度調査することを要望する。

部長 デジタル放送の特性で、アナログ放送より1秒遅れて放送されることから、デジタル放送とアナログ放送の両方の音声聞こえるエリアで

は、放送が1秒ずれて重なって聞こえることにより、聞こえづらいことがわかった。この現象については、令和2年度に同報無線子局全デジタル化により市内全域で解消される。

これからの教育について

問 我々40代から50代の世代の両親は、高度経済成長の中、生活して来たが、我々世代でこれほどの格差が広がるということは想定していなかったと考える。だからこそ、今の子ども世代の教育から変えなくては、所得格差など解決できないと考えるがいかがか。

教育長 これからの教育においては、予測不可能な様々な課題に対し、知識・技能を有効に活用し、思考・判断しながら、他者と協働して解決していく力を重視していく。これらの資質・能力を全ての子どもにつけていくことが、これからの社会で活躍することができる力をつけることになり、それが所得格差をなくしていくことにつながっていくことになると思う。

芙蓉 (ふよう)

の もと たかゆき
(野本 貴之 議員)

令和2年度施政方針について市長に伺う！

問 政策の優先順位のつけ方について市長の考えを伺う。

市長 優先順位の判断は第5次総合計画の3つの重点取組が重要な要素。さらに市民ニーズや社会経済環境、部局の要望、特定財源等があるか、事業の必要性や妥当性、また緊急性や有効性等の視点も含め総合的に判断していきたい。

問 日本語の案内看板を自動翻訳機などで分かりやすく通訳できるように看板の伝え方の工夫や見直しに取り組んではどうか。

部長 やさしい日本語を取り入れ、「水垢離場(みずごりば)」のような難しい言葉をできる限り簡単な言葉で紹介できるように案内看板の伝え方の工夫や見直しを検討したい。

問 学校のICT利活用推進を伺う。

教育長 令和元年度は市教育情報化推進基本計画

第2期について検討を進めていく。ICT機器は不可欠なので、タブレット等の端末の増設、校務支援システムなどの教育の情報化等について考えていきたいと思う。

問 公園サポーター制度の導入やトイレのネーミングライツについて考えを伺う。

部長 公園愛護活動を導入し、団体と協定を締結している。今後企業などへの働きかけや制度の推進を図るために、協力いただいている公園に団体名や制度を周知PRする看板の設置などについて検討する。ネーミングライツについては研究していきたい。

問 経常的経費の増加の改善や取組みは。

部長 今後も徹底した事務事業の見直しや事業の選択と集中を図り、経常経費の増加を最小限に抑え、限られた財源を有効かつ効果的に活用することが重要であると強く感じている。

